

『図書館文化史研究』投稿規定・執筆要領

応募資格等

1. 日本図書館文化史研究会会員は投稿することができる。
2. 応募原稿は未発表のものに限る。ただし口頭で発表し、これをまとめたものは除く。
3. 掲載原稿の著作権は、本研究会に帰属する。ただし著者は、本会に連絡して、転載することができる。

応募原稿等

4. 原稿は完全原稿とする。ワープロ等を使用する場合、A4用紙（縦位置）、1行40字×40行・横書きの書式に設定する。手書きの場合は400字詰（20字×20行）原稿用紙を用いる。
5. 枚数制限は特に設けないが、長文の場合2回以上の分載とすることがある。
6. 図版は占有面積1ページ分を400字詰原稿用紙3枚の割合で換算し、そのまま版下として使用できるよう鮮明なものを提出する。
7. 原稿はMS-DOS標準テキストによるワープロ原稿が望ましい。
8. 標題（外国語併記）、著者名（ローマ字併記）、著者の所属機関名、原稿の区分、および連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）を記入した別紙を添付する。
9. 原稿本文の冒頭に原稿の区分、標題、250字程度の和文抄録を記載する。

原稿の提出

10. 原稿はコピーを含め2部を提出する。なお、投稿原稿は返却しない。
11. 原稿は書留により別記編集委員会に郵送する。ワープロ原稿の場合、掲載が決定次第、電子データを添付ファイルで提出する。
12. 原稿の締切は、毎年12月末日（必着）とする。

編集委員会

13. 原稿の採否は編集委員会が決定する。
14. 論文と研究ノートは、別に定める査読内規に基づく審査を経て、編集委員会が採否を決定する。
15. 書評の掲載については、別に定める書評掲載にあたってのガイドラインによる。
16. 編集委員会は原稿の内容・表現等について、著者に修正・書き直しを求めることがある。また、編集委員会で用字・用語等について、修正・統一をすることがある。

校正・抜刷

17. 著者校正は再校までとする。その際、字句の修正以外は原則として認めない。
18. 著者には抜刷20部を進呈する。

体裁・表記

19. 原稿の執筆は以下の要領による。

- ① 本文の見出し区分は、原則としてポイントシステムを使用し、次のように表記する。
 1. _____
 - 1.1. _____
 - 1.1.1. _____
- ② 句読点は「,」「。」を用い、各1字分をとる。その他の記号類も各1字分をとるが、点線(……)・ダッシュ(—)は各2字分をとる。
- ③ 数字は引用文、および漢語の一部となっている場合を除き半角アラビア数字を用いる。
- ④ 外国語は慣用的呼称をカタカナで表記し、必要に応じて原綴を()に記す。手書き原稿の欧文文字の大文字は、1マス1字、小文字は1マス2字をあてる。
- ⑤ 西暦年以外の紀年を使用するときは、必要に応じて西暦年を()に入れて併記する。
- ⑥ 本文中の引用文献のタイトルは、欧語の場合は斜体で、手書き原稿はアンダーラインで示し、それ以外は『 』に入れる。
- ⑦ 本文中の論文等のタイトルは、欧文の場合は“ ”に入れ、それ以外は「 」に入れる。
- ⑧ 本文中の引用は、「 」、または“ ”に入れる。長文の場合は行を改め、本文より2字下げて記す。
- ⑨ 注は1)、2)のように通し番号を付け、全文の末尾にまとめる。その際文献の記載については、原則として以下のように記載する。

[雑誌論文からの引用]

1) 渡辺重夫「国民の権利としての図書館利用」『図書館学会年報』Vol.30, No.2, 1984.6, p. 55-56.

2) Harris, Michael H. “The dialectic of defeat : antimonies in research in library and information science,” *Library Trends*. Vol.34, No.3, 1986, p.515-531.

[図書からの引用]

3) 永末十四雄『日本公共図書館の形成』日本図書館協会, 1984, p.352-353.

4) Newhouse, Joseph P. and Arthur J. Alexander. *An Economic Analysis of Public Library Services*. Lexington, D.C. Heath Co., 1972, p.120-121.

[インターネット上の情報]

5) 石村恵子「電子図書館と著作権」『つくばね』[オンライン] Vol. 23, No. 4, 1998.4 [引用日: 1998-09-07]<URL:<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/tsukubane/2304/ishinura.html>>

6) International Council on Archives. *ISAD(G) : General International Standard Archival Description* [online]. Ottawa, ICA, 1994[引用日: 1998-09-07]<URL:<http://www.archives.ca/ica/isad.html>>

原稿の送付先

〒101-8301 千代田区神田駿河台1-1 明治大学司書・司書教諭課程

日本図書館文化史研究会